

・海外感染症流行情報 2022 年 11 月

(1) 全世界:新型コロナウイルス流行状況

新型コロナウイルスの全世界の感染者数は 11 月になり減少傾向にあります(WHO Corona virus disease 2022-11-23)。国別では南アフリカ、ブラジル、フランス、インドネシア、タイ、日本などで感染者数が増加しています。流行株はオミクロン株の BA.5 系統が主流で全体の 7 割を占めています。BA.5 系統で免疫逃避が強いとされる BQ.1 は 2 割以上に増加しており、今後、北半球の冬の到来とともに、流行が拡大する可能性があります。なお、日本の外務省は、空港での海外在留邦人向けのワクチン接種を継続しています。[外務省 海外安全ホームページ | 日本での新型コロナウイルス・ワクチン接種を希望する海外在留邦人等の皆様へのお知らせ \(mofa.go.jp\)](#)

(2) 全世界:季節性インフルエンザの流行状況

11 月になり世界各地でインフルエンザの患者数が増加しています(WHO Influenza 22-11-14)。米国では南部などで、ヨーロッパではドイツ、英国、ポルトガルなどで A(H3N2) 型の患者が増えています。東アジアでは患者数の著明な増加が見られていませんが、日本では局地的な患者発生が報告されています(厚労省新型コロナ専門家会議資料 22-11-22)。今後、北半球全体で冬の流行が拡大すると予測されます。

(3) 全世界:サル痘流行状況

今年の 5 月からヨーロッパや北米、南米を中心にサル痘の世界的な流行が発生しています。11 月中旬までに 110 か国から 8 万人近くの感染者が報告されていますが(死亡は 53 人)、今年 8 月ごろをピークに感染者数は減少傾向にあります(WHO 22-11-23)。感染者の大部分は男性間性交渉者(Men who have Sex with Men : MSM)で、この集団を対象にワクチン接種を推進した結果、感染者数の減少がみられているようです。

(4) アジア:アジアでの Dengue 熱流行状況

今年は東南アジアで Dengue 熱の患者数が大幅に増加しましたが、11 月になり減少傾向にあります(WHO 西太平洋 22-11-17)。11 月中旬までにマレーシアで 5 万人、フィリピンで 19 万人、シンガポー

ルで 3 万人、ベトナムで 30 万人の患者が確認されており、ベトナムの患者数は今年の 5 倍近い数になっています。今年はインド、バングラデッシュ、ネパールなど南アジアでも、デング熱患者数が例年になく増加しています(Outbreak News Today 22-10-30, 11-2)。

(5) アジア: インドネシアでポリオ患者が発生

インドネシアのスマトラ島北部にあるアチェで、11 月初旬にポリオ患者が一人発生しました(ProMED 2022-11-20)。患者は 7 歳の男児で、ポリオワクチン由来の 2 型ウイルスが検出されました。同国では 2019 年にパプア州で感染者が 2 人確認されていますが、それ以来のポリオ患者発生になります。

(6) ヨーロッパ: 移民などにジフテリア患者が多発

今年になりヨーロッパ各地で、中東などからの移民にジフテリア患者が多発しています(ヨーロッパ CDC 22-11-18)。11 月中旬までに 148 人の患者が確認されており、ドイツ、英国、オーストリア、スイスでの発生数が多くなっています。ジフテリアは飛沫感染する細菌性疾患で、喉頭・咽頭の炎症や皮膚の病変をおこします。今回確認された患者の出身国は、シリアやアフガニスタンが多い模様です(ProMED 22-11-19)。

(7) アフリカ: ウガンダでのエボラ熱の流行

東アフリカのウガンダでは、9 月から発生していたエボラ熱の流行が 11 月も続いています(WHO 22-11-10)。累積患者数は 11 月中旬までに 136 人となり、53 人が死亡しました。患者発生は同国中央部のムベンデ県を中心に 8 つの県に及んでおり、首都カンパラでも 17 人の患者が確認されました。なお、直近の新規患者数は減少傾向にあるようです(ヨーロッパ CDC 22-11-17)。